

ミラノサローネ国際家具見本市に出展



株式会社 細尾は、2022年6月7日～6月12日にイタリアで開催されるSalone del Mobile.Milano (ミラノサローネ国際家具見本市)に出展し、新作テキスタイルコレクション「Heritage Nova」を発表致します。

330年以上にわたり、「HOSOO」は西陣織の作り手として歴史を重ねてきました。12代目当主を務める細尾真孝は、創造的なビジョンと情熱をもって、唯一無二のテキスタイルメゾンとして、日本の優れたテキスタイルとそのクラフツマンシップを世界に発信し続けています。今回、新作テキスタイル「Heritage Nova」コレクションを世界に向けて発表し、新たな一步を踏み出します。

Heritage Novaは、シルクとヘンプのコンビネーション特有の質感を、HOSOOならではの複雑な構造による立体的な表現で織り上げたコレクションです。シルクとヘンプの邂逅という、日本の伝統と現代の技術を融合した12種類の革新的なコレクションは、時代を超えた美しさを表現しています。

そのインスピレーションは、HOSOOが創業した17世紀に作られた麻布との出会いから得ました。古布が持つその独特の気配に魅了され、現代の西陣織として制作を試みました。ヘンプはその複雑な特性から、安定した織物構造を作るためには、他の素材との組み合わせが不可欠です。HOSOOは、他の追随を許さない高い織技術、そして素材、デザイン、混率のテストを繰り返し、シルクとヘンプの調和を実現し、Heritage Novaコレクションを開発しました。



(左上から時計回り) Heritage Nova 新作コレクションより—Flux, Dreamscape, Repose, Matrix

日本におけるヘンプの歴史は、1万年前にさかのぼります。衣服や縄など実用的なものから、神様に捧げる神聖な植物として神事まで、様々な用途で使われてきました。現在では、ヘンプを優れた素材として再発見し、織機で織るのに適した素材にするための研究が続けられています。また、近年では、生分解性が高く、サステナブルな素材としても知られています。

ヘンプは水に浸して日光に晒すと、時間が経つにつれて白くなる性質があります。日本文化において、その白が古来より清浄なものとされたのは、それが「素」の状態、物事が為される前の「未然の状態」を表していたからです。この素材が持つ色の可能性は、常に未来を探求し、テキスタイルの歴史に新たな局面をもたらすHOSOOの“More than Textile”理念と共鳴しています。高い織技術と芸術性の可能性を示すとともに、HOSOOの飽くなき革新の精神を具現化したコレクションです。

ブランドのクリエイティブディレクターを務める細尾真孝は言います。

「かつて、白いと柔らかいは同義であったとされるそうです。江戸期の大麻布に触れた時、自分のイメージとは全く異なるその質感に衝撃を受けました。固くゴワゴワしていると思っていた大麻布が、これほど白く、柔らかいものであると知ったのです。古いものの中に新しいものを見出した瞬間でした。1万年前から人類と共にあった大麻の糸を、西陣の歴史に織り込み、新しいヘリテージが生まれます。」



Heritage Nova 新作コレクションを用いた家具と壁紙

<ミラノサローネ国際家具見本市 概要>

HOSOO SHOWCASE at Salone del Mobile.Milano

会期：2022年6月7日（火）-2022年6月12日（日）

会場：S.Project F26, Fiera Milano, Rho

開館時間：9:30-18:30（平日は業界関係者のみ）

<HOSOOについて>

『細尾』は元禄年間（1688年）、京都西陣において大寺院御用達の織屋として創業しました。京都の先染め織物である西陣織は1200年前より貴族をはじめ、武士階級、さらには裕福な町人達の圧倒的な支持を受けて育まれてきました。『細尾』は今、「帯」や「きもの」といった伝統的な西陣織の技術を継承しながら、革新的な技術とタイムレスなデザイン感性を加えることによって、唯一無二のテキスタイルを生み出し、国内外のラグジュアリーマーケットに向けて展開しています。
www.hosoo.co.jp



プレスお問い合わせ先

株式会社細尾 広報：武田多英子・萩原綾香

press@hosoo.co.jp